

令和4年度河川砂防設計に関する研修会を開催しました

- 1 日 時 令和4年7月29日（金）13：15～16：40
- 2 場 所 福島市「とうほう・みんなの文化センター」（県文化センター）
2階会議室

- 3 主催者あいさつ

当協会佐藤専務理事より、「県から河川砂防に関する最新の情報を講演していただく。本日の講演は、今後の業務に役立つものと確信している。」とあいさつがありました。

- 4 参加人数 87名

- 5 講演（CPD 3ポイント）

河川・砂防設計に関する技術力の向上を図るため、災害復旧や河川・砂防の測量設計業務を行う上での最新の知識などを修得すること等を目的に開催するものです。



(1) 災害対応（調査・測量・設計上の留意点）について 13:20～

福島県土木部河川整備課 主任主査 湯田 裕一郎 氏 14:20

災害査定の留意点や大規模災害時の災害査定の効率化及び事前ルール化等について講演されました。



(2) 砂防設備における設計の留意点について 14:30～

福島県土木部砂防課 主任主査 穀野 康之 氏 15:30

主任主査 飯塚 暢明 氏

① 砂防設備における設計の留意点 主任主査 穀野 康之 氏

防災、減災、国土強靱化のための5か年加速化対策や流木対策、無流水溪流対策、砂防・地すべり技術センターの活用等について講演されました。



② 急傾斜地崩壊防止施設設計の留意点 主任主査 飯塚 暢明 氏

土砂災害関係の4法律や急傾斜地崩壊対策事業の特徴、設計の留意点、施設効果が発現されなかった事例などを講演されました。



(3) 測量設計業務における留意点について 15:40～

福島県土木部技術管理課 主任主査 浦部 晶彦 氏 16:40

設計業務等積算基準の改正や会計検査における指摘事項、働き方改革等について講演されました。

